

〔玉城 勇議員 登壇〕

○13 番 玉城 勇君 それでは、1 点目に町内各公園の樹木の剪定についてお伺いします。

(1) 町内の都市公園は、清掃、草刈りが行われ来園者に喜ばれています。しかし、樹木が成長し園路が湿っている所がある。剪定は樹木を整えるために枝の一部を切り生育を等しくするにも良いと言われております。剪定及び管理状況はどうなっているか。(2) 選定を行うことによって、ロケーションの良さを確保し公園の良さ、心地良さを維持することは、町民に喜びを与えることになる。各公園の管理計画など予算確保はどうなっているか。

2 点目に、農業基盤整備で農業生産量向上をお伺いします。(1) 農業所得向上のためには、農業基盤の整備が必要である。農業者から土地改良の要望などで町の計画の検討はないか。(2) 南風原町の農業生産高、金額はどの程度あるか。(3) くがに市場開店に向けて野菜生産増産も含め防虫・防風ネット等の助成をしております。資材費の購入のため農作物被害防止事業補助金で利用者と面積はいくらになっているか。(4) 宮城土地改良区の隣に与那原町大見武区の土地改良区がありますが、水の確保に苦慮しております。南風原ダムの水が利用できれば生産量が増加できる。与那原町と協議できないか。以上、お伺いいたします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 それでは、質問事項の 1 点目の町内各公園の樹木の剪定について

(1) にお答えします。樹木の剪定については、年に 1 回程度の頻度で、台風シーズン前に行っております。剪定は、公園利用者のために木陰の確保もできるように行っていますが、その影響により園路が湿っている状況があれば清掃等で対応してまいります。(2) についてです。町が管理している公園の維持管理については、4 人の清掃班が常時各公園を巡回して清掃を行っています。公園施設の修繕については、小規模の場合には大工班にて補修を行っており、通常の維持管理費の予算については確保できていると考えています。予期せぬ大規模な補修については、補正予算等で対応してまいります。

質問事項 2 点目の農業基盤整備で農業生産量向上の確保についてお答えします。農振農用地における土地改良などの基盤整備等については、農業者からの要望もないことから、

現在のところ計画はありません。(2) についてです。沖縄県の農業関係統計(最新;平成 27 年 3 月発行)の資料では、平成 18 年度金額は産出額総額が 13 億 1,000 万円で、甲種で 8 億 6,000 万円、畜産で 4 億 5,000 万円となっています。県の統計資料では、平成 18 年以降の市町村別産出額の数値は確認できませんでした。(3) についてであります。まず補助事業の利用者と面積についてであります。平成 26 年度については利用者 17 名、面積で 3 万 1,681 平方メートル。平成 27 年度で利用者 12 名、面積については当初お配りした資料に訂正がありまして、面積が 2 万 854 平米となっております。(4) についてです。南風原ダムの水事情について、与那原町からの事前相談は現在のところありません。以前に、本町から水利用の了解が得られなかったと聞いております。再度、与那原町から水事情について協議がありましたら、宮城、宮平、喜屋武地区の水利組合の意向を踏まえて検討してまいります。以上であります。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 それでは、1 点目から順序よく再質問をさせていただきます。まず、樹木が非常に繁茂しておりまして、そのおかげで路面、特に園路、通路が非常に湿っている箇所があります。そのへんは清掃等で改善をしていくとのことではありますが、状況がどうなのか確認されているのかどうか答弁をいただいてから次の質問をしたいと思います。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城敬宝君 答えいたします。樹木が繁茂している園路が湿っているのご質問でありますけれども、現場を確認したところ確かに一部湿っていたり、木の実ですかこれも落ちていて若干滑るような状況もあります。それにつきましては、公園班については 2 班体制でやっていますので、そのなかで維持管理をやっていきたく思っております。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 確認をいただいております。実は、公園利用者の皆さんから滑る所があると、しかも公園は街灯がついておりまして、夜が明ける前からウォーキングをなさったり体操をしたり、あるいは園路並びにグラウンド、広場を利用してウォーキングをしたり体操をしたりストレッチをしたりしています。そこで滑る所があるということでぜひ修繕をしていただきたいというのがあります。それから、樹木がだいぶ繁茂して照明が路面に届いていない所があります。樹木の枝葉で非常に暗くなっているということで、樹木の剪定、その通路に合った剪定方法、木を損なわないようにやるべきだと思いますけれども、それについて年に 1 回では少ないのかなと思います。あるいは、年に 1 回やっていますけれども、この枝の剪定についてはどのようになされているのかも一度お願いします。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城敬宝君 枝の剪定につきましては、特に台風シーズン前に管理している各公園をパトロールして、枝折れがありそうな木については剪定するとか、そのように対応しておりますけれども、先ほど質問がありましたように夜、例えば枝が袖を深くして見え難いということがあれば、夜に見てどうにか対応できないかどうか確認してみたいと思います。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 ウォーキングをしている皆さん、体操をしている皆さんから要望がありますので、滑る所の修繕とこの枝が繁茂して照明を遮っている所を確認されて剪定あるいは対処をお願いしたいと思います。

(2) に移ります。これについても剪定なのですが、公園の場合、ほとんど高台に設置されております関係上、周辺の見通しが非常に良いのです。ところが、樹木が繁茂すると公園の周辺が見えなくなってくる、あるいは外から公園を見たときに樹木だけが見えて公園の遊具やそういう人がそこで集まってゲームをしたりウォーキング、体操をしたりしているのが見えない。公園にはロケーションが良いところがいっぱいあるのですが、それが樹木で遮られてせっかくの公園、周辺の良さが分からなくなっている。そのへんでぜひ剪

定をやっていただきたいのですが、4名の皆さんが4カ所を回っていますけれどもそのへの指示はできないかどうかお願いします。

○議長 宮城清政君 まちづくり振興課長。

○まちづくり振興課長 金城敬宝君 お答えいたします。確かに町の管理公園につきましては、ほとんど高台にあってロケーションも良いということです。緑園もやはり必要でありますし、それも含めて現場を見て死角にならないように、そういった所があれば剪定等で対応していきたいと思います。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 公園には展望台とか東屋とかちょっとした高台を造っていますので、ぜひそこから高速道路を見たり、あるいは本部公園から那覇方面の景色を眺めたりするためにもぜひ樹木の剪定あるいは少し低くしていくとかそういうふうによればもっとも公園そのものが明るくなりますし、来園者も増えてきます。ぜひ、その確認と対処をお願いしたいと思います。

それから、あと1点。そのロケーションについてでありますけれども、公園周辺にもっと高い場所があつて、それからこの公園の樹木を剪定することによって遠くがよく見えてくるということがありますので、それ含めて検討をお願いしたいと思います。

それでは、質問の2点目に移ります。農業基盤整備であります、(1)について現在のところ計画はないと。もちろん、農業者からの要望がないということではありますがしかし、以前に南風原町内で土地改良が何カ所か行われておりますああいう大規模ではなくミニ土地改良事業というのがあったと思うのです。これについて現在も希望すれば可能なかどうかお願いします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えいたします。今現在ある土地改良区、最後の土地

改良区からもかなり年数が開いておりまして、それ以後の土地改良区の整備が今現在なされていらない状況でございます。ひとえに土地改良区につきましてはその周辺の地権者がかなりの意向をお示しでないと事業ができないということがありまして、農振農用地区域内の方々からの要望が出ていないことから町としても計画を持っていない現状でございます。今議員がおっしゃったミニの土地改良区ですか、これにつきましては町の独自事業としては非常に厳しい面がございまして、補助事業のメニューに乗っかってできるものであれば前向きに検討させていただきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 各地区で土地改良を行って非常に良いほ場ができていますけれども、当時土地改良から外れた所が斜面地に残っていると、結構それが各地域にあるのです。ですから、以前はミニ土地改良事業、約 6,000 坪を超えれば事業が導入できるというのがあったのですけれども、どの規模から希望があればこの事業推進ができるのかどうか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 申し訳ございません。手元に補助の基準手引書を持ち合わせておりません。また、近年その面整備的な事業がないことから資料を整えるのに時間がかかると思います。その件につきましては後ほど資料をお上げしたいと思っております。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 土地改良区にどうしても傾斜がきつい場所もありますので、すでに完了している土地改良区の部分的な傾斜の修繕、そういったものを含めて、現在農地として残っているのですけれども活用されていない農地の基盤整備とか、あるいは新たなミニ土地改良事業を導入することによってこの土地が生かされてきますので、ぜひそのへの調査もされて、もし可能であれば対応していただきたいと思っております。私が見た範囲でも何

カ所かこの事業を導入したほうがいいのではないかという所もございますので、そのへんもう一度確認をしたいと思います。ぜひ今後、調査をして進めていただきたいのですが、いかがですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えします。基盤整備につきましては、近年は公営ではなくて団体営が基本となりますので、当然その地域の方々からの強い要望がなければなかなか動くことが難しいところがございます。それにつきましては、各地域の声を拾い上げて、そういった要望がありましたら町としても全面的にバックアップしていきたいと考えます。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 以前の土地改良事業も農家の負担はなかったのです。減歩がありまして、その減歩 11 パーセントか 12 パーセントで事業を推進してもらったということがあります。ぜひ新たな負担金が発生するものではなく、土地の減歩によってその事業が推進できなければこういう基盤整備はできないと思いますので、そのへんをぜひ確認していただきたいと思います。

(2)に移ります。南風原町の農業の生産高、金額についてでありますけれども、平成 18 年が 13 億円の売上であります、そのうちの 4 億円が畜産であります。面積からすると非常に農地からの収入が少ないと感じております。ただ、これは 10 年前の資料でありますので、現在の平成 27 年度あるいは平成 26 年度の数値はもっと低いと感じております。ですから、今現在、南風原町の農業生産というのは J A 南風原と J A 津嘉山の 2 カ所がメインにありますけれども、津嘉山地区においては 10 年前から面積、売上についてもほぼ横ばい状況です。J A 南風原管内がだいぶ落ち込んでおりまして、そのへんもっと底上げしていかなければとどんどん耕地面積が減ってきています。耕作放棄の土地がだいぶ出てきております。そのへんを知るためにはこの農業生産高あるいは金額が必要であります。ぜひ平成 26 年度あるいは平成 27 年度のもので調査できるのであれば調査されて、今後の南風原の農業についての基本、これからの推進に向けての取組が必要だと思っております。県は 10 年

前のものしかないのですが、本町でこの調査が可能なかどうか、課長、お願いします。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 調査についてなのですが、現在行っている調査というのは、生産高と言うより生産量などについてでありまして、生産額・出荷額についての調査が平成 18 年から県のほうも国のほうも行っていないということで資料がございませんでした。平成 25 年、平成 26 年の調査、野菜で言いますと作付面積地が 72 ヘクタール、平成 26 年度が作付面積 73 ヘクタール、収穫量が 1,745、こちらでも一応はトン当たりになっているのですが生産量については統計で一定量の調査はいたしております。今後もまた統計はえざる等で整理していく予定であります。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 南風原町の農地が主にキビが多いと思うのですけれども、確かに 64.6 ヘクタール程度が活用されているかと思えます。先ほどの 73 ヘクタールとありますけれども、坪当たり 2,633 円を生産高であります。花きが 1,517 円。サトウキビが 425 円です。津嘉山農協管内で言いますと、花きのはるかに多くて 18 ヘクタールです。主にストレリチアですが、それに菊と蘭が入って本町の花きであります。しかし、野菜は町内全域にまたがっておりますので、そのへん一番生産高が高い。ですが農地を再度作ることによって、この生産高がもっと上がってくる。もちろん農家の人たちの所得も増えてまいりますので、もう一度検討されて、できたら調査をされてどのぐらいの農業生産高、収入があるのか、本町としてある一定の数字は把握する必要があるのではないかと思うので、ぜひ県の資料ではなくて本町の調査をお願いしたいのですがいかがですか。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 ご提案のとおり生産量が確認できるようにこちらもどういった統計が取れるのかまだ確認はできておりませんが、できる限り把握ができるように調

べていきたいと思います。農協とか花き組合など組合が絡んできまして、把握が困難なところもあるので、話し合いをして調査ができるようにこちらもいろいろ調整を行ってきたいと思います。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 ぜひお願いいたします。私が調べた資料も両農協に出荷したあるいは取り扱っている品物しかないのですけれども、農家には相対売りと農協を通じず直接販売している方もいらっしゃいますけれども、資料として町のほうで分かる範囲のものを調査してもらいたいと思っております。

次にいきます。質問が関連しますけれども、農業基盤整備で農業生産を向上させるために町もくがに市場ファーマーズに対しても野菜生産を増産してもらおうということで、農作物の被害防止事業補助金としてネットあるいはこのパイプの助成金を出しております、平成 26 年、平成 27 年の 2 カ年の資料がございます。南風原町は葉野菜が非常に少ない。それを増やすためにこの事業をやったと思うのですが、平成 26 年が 3 万 1,000 平米、平成 27 年が 2 万平米あまり。そこで野菜が今ここでどのように栽培されているのか、この事業を受けた農家の皆さんが合計 5 万 1,000 平米、防虫ネットを利用した栽培をしておりますけれども、これによってどのぐらいの野菜が栽培されているのか、あるいはどのぐらいがファーマーズに出荷されているのか。もちろん資料がありましたらお答えください。

○議長 宮城清政君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城郡浩君 ただいまのご質問ですけれども、こちらでその野菜の量、出荷の量というような追跡の調査は現在のところしておりませんので、手元にそのデータはございません。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 せっかく町の助成金として栽培を増やしていこうとやっております



ので、農家の皆さんにはこういう野菜栽培がもっともっとできるようにぜひ調査をしていただきたいと思います。そうすることによって、くがに市場ももっと活性化しますし、お客さんも増えてきます。当初から売り上げは少ないのですが、やがて 1 年目を迎えることによってわりとお客さんも増えてきておりますし、野菜も周辺からだいぶ納品されている状況でございます。せっかく本町が非常に大きな金額の後押しもやっておりますので、ぜひこの調査、確認をしていただきたいと思います。今後ともこの助成金が継続されて、農家の皆さんあるいは小口の栽培をする農家の皆さん含めて、この事業が推進できるようお願いしたいと思っております。

それでは（４）南風原ダムの利用についてであります。以前、与那原町が土地改良をする際に、南風原に対しての水利用要請があったのですが、それができなかった理由がまだ分からないのです。その記録があるのかどうか。与那原町の土地改良区には、一部の農家が利用できるような井戸が設置されているのですね。まだ半分の面積にも達していない、河川の水を利用した井戸がありますけれども、なぜそうなったのか。もし資料等で分かっていたら答弁をお願いします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えいたします。以前、与那原町大見武区の土地改良のなかで畑かんを整備する際に南風原ダムの水利用ということで協議があったと、その時点の協議書が見当たりませんので詳しいことは申し上げられませんが、私が覚えている範囲では協議のなかで町のほうも今現在南風原ダムが使われている各土地改良区の水利用組合との協議をもった結果、その当時は日照り関係もありまして結構ダムの水位が下がった時期もありまして、与那原町まではということでの了解が取れなかったということがあります。与那原町としましては、雨水を貯め込むタイプのタンクを道路上に造りましてそれに貯めて使うという方式で整備に至ったという記憶でございます。正式な文書関係につきましては、期間がたっておりまして、例えば倉庫に保存されているのかどうか現在確認ができませんでした。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 与那原町の土地改良区のほぼ半分、50 パーセント近くが本町の農家の皆さんでありますので、ぜひその土地に水が引けるような事業が必要だと思っております。以前、どういう理由で断っているのか分かりませんが、今現在、井戸から水が引けない地域がいっぱいあります。ですから南風原ダムの水が利用できる方法を考えていただきたいのでありますけれども、今現在、それを利用するために何か障害があるのかどうかをお願いします。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 お答えいたします。障害と言うよりも南風原ダムの水量なのでありますけれども、ダムの堤体を改修する事業の時に、同時に浚渫の事業メニューを県は持っておりましたが堤体の整備に伴いまして既存の状況を調査した結果、4 地区で使う水の量は状況を満たしているということがありましてこの浚渫自体は行われておりません。ですので、他の地区に水を供給した場合、現在のダムの水量で事が足りるのかはまた今後確認をしなければいけないことだと思っております。また、この水利用につきましては、南風原町が独自に了解を取るのは大変難しゅうございます。各 4 地区の水利組合の意向が一番左右するのではないかと思っております。また、与那原町側から水利用についてその協議がまだなされておられませんので、正式に協議がありましたら南風原町としても各地区の水利組合の意向を踏まえて検討させていただきたいと思っております。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 南風原ダムの水については、オーバーフローのハッチが 2 カ所あるのです。今、低い所のハッチが開いているのですね。しかし低い所のハッチを閉めて高い所のオーバーフローのハッチを開ければ、今の水面よりも 1 メートルあまり水面が高くなると思うのです。これは近年ですけれども、取手の修繕をしたりダムの修繕をした時に新たなオーバーフローのハッチができております。以前からも言っているように、この南風原ダムはもっと大きな溜池になるはずなのです。皆さんがオーバーフローのハッチで低い所を閉めることによって水量が上がりますので、十分な水の確保ができます。このへんをぜひ夏場に向けて今この雨の多い時期にハッチを交換する必要があると思うのですがそれ

についてはどうですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 降り口が2カ所あるうちの下のほうを現在開けているということにつきまして、直接その理由につきましては県にまだ問い合わせをしておりません。その内容を確認させていただいて、ダムの水量が増える手立てがございましたら、それはそれで今後県と調整しながら進めていきたいと思っております。ただ、この水の利用につきましては、先ほども申し上げたとおり町が独自に考え方を進めていける内容ではございませんので、正式な要請がございましたら水利組合と調整しながら可能かどうか検討させていただきます。

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 おっしゃるように現在3つの水利組合ができておりますけれども、しかし、南風原ダムの水量を増やすことによってそれぞれの水利組合が使う水の量は心配しなくていいと思うのです。今現在の低い段階でも水不足はありませんので、ぜひハッチを上を上げることによってさらに水量が増えますから、その辺は問題ないと思っております。もちろん、南風原ダムは当時南風原村時代の構造改善事業でダムが新たに増えていますね。人口の溜池ですけれども。しかし、今現在、南風原町の管理になっておりますので、南風原町で3水利組合と調整されて、与那原町の土地改良区農家の皆さんが利用できるような方法をこれからは検討していくべきであろうと思っております。申し上げますと、与那原地区の土地改良区の約半分が南風原町の農家の皆さんでありますので、それを踏まえると早めにこの協議をされて、あるいは与那原町からこの協議がきたらおっしゃっているように話し合いに応じていくということでもありますけれども、ぜひ今後に向けてその方向性を見出していきたいのですが、これについてはいかがですか。

○議長 宮城清政君 経済建設部長。

○経済建設部長 真境名元彦君 与那原町から正式な協議がきましたら、こちらのほうからもそういった内容のお話ができるように調査、資料等を整えて進めていきたいと考えております

○議長 宮城清政君 13 番 玉城 勇議員。

○13 番 玉城 勇君 ありがとうございます。以上で質問を終わりますけれども、行政として南風原町のためあるいは南風原の農家の皆さんのために、あるいは町民のためにいろんな事業がたくさんありますが、ぜひ耳を傾けていただいて、今回のように素晴らしい対応をしていただきたいと思います。以上で終わります。

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前 10 時 40 分）

再開（午前 10 時 41 分）